進行管理・実施状況評価の考え方

（１）目的

本町においては、男女共同参画社会基本法に基づく市町村男女共同参画計画として、令和７年３月に「第６次さむかわ男女共同参画プラン」を制定した。

また、本計画は、寒川町総合計画「さむかわ２０４０プラン」に基づく分野別の基本計画の一つでもある。

第６次計画は、令和７年度から令和１０年度を計画期間とする本町のあらゆる分野にわたる計画であり、その推進に当たっては、全庁的な取り組みを必要とする。

各事業にわたる計画の進捗状況を確実に把握し、その評価を行うことにより、計画の実効性を確保し、男女共同参画社会の実現に向けた諸施策を推進する。

（２）評価の対象及び方法等

【評価の対象】

①事業実施担当課が実施する各事業の評価

各事業ごとに、事業実施担当課が自己評価を行い、町民窓口課（令和３年度から）において、その実施状況をとりまとめ、さむかわ男女共同参画プラン推進協議会（以下「推進協議会」という。）に報告し、意見を伺う。

②基本目標の評価

第６次さむかわ男女共同参画プランで定める５つの基本目標の評価は、各事業の評価内容を踏まえ、推進協議会において実施する。

推進協議会では、各基本目標が計画期間の中でどの程度進んでいるのか、遅れている部分についてはどのようにして進めるべきかなどについて、総合的な広い観点から評価するものとする。

なお、この基本目標の評価結果は次期計画の策定に関し重要な参考資料とする。

【評価の方法】

１．進行管理表（別紙）により、各事業ごとに、事業実施担当課が自己評価を行い、さむかわ男女共同参画プラン連絡会（以下「連絡会」という。）に報告し、推進協議会へ最終報告を行う。

２．事業の実施状況及びその評価内容について、町民に公表する。

【各事業の評価基準】

事業実施担当課が、目標の「達成度」、「今後の方向性」について自己評価を行う。

判定区分は下記のとおり。

【目標の達成度】

Ａ：目標達成

Ｂ：概ね目標達成

Ｃ：目標に向け事業が遅れている

Ｄ：目標に向け事業がほとんど進んでいない

→【目標の達成度】についての考え方
Ａ：目標値に達している
Ｂ：目標値に対し80％以上の実績値
Ｃ：目標値に対し80％未満の実績値
Ｄ：目標値に対し取り組むことができなかった

【今後の方向性】

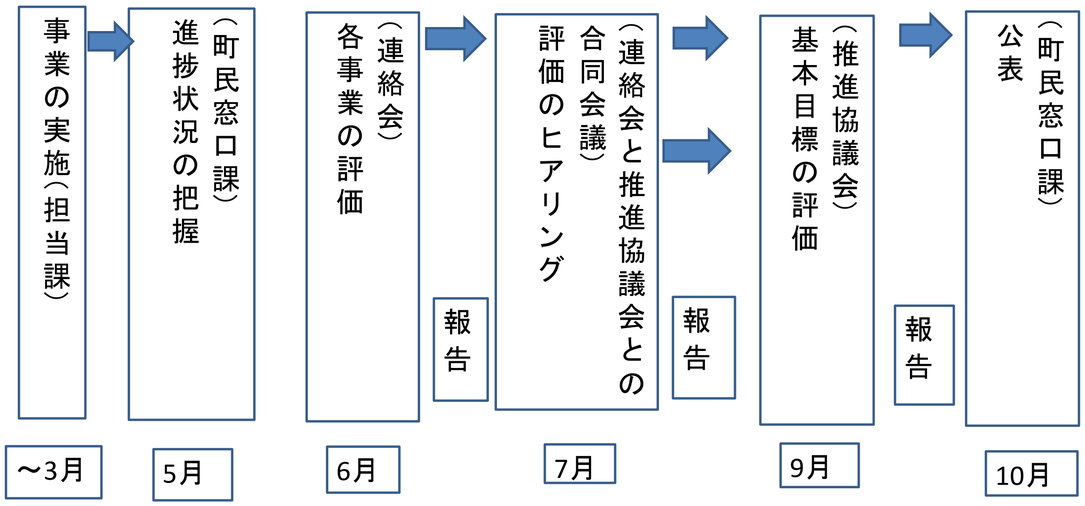
１．更に充実強化していく

２．計画どおり取り組む

３．一部見直しが必要

４．事業の休止または廃止

進行管理・評価の流れ



〈基本目標Ⅰ　あらゆる分野での女性の活躍推進〉

施策の基本的方向　１．政策や方針決定過程などへの女性の参画の推進

施策の内容（１）事業所等への女性登用の促進

事業番号	事業名 / 事業内容	指標	７年度目標値 / 実績	８年度目標値 / 実績	９年度目標値 / 実績	10年度目標値 / 実績	現状と課題（令和7年度）	評価 / 今後の方向性	評価の理由（令和7年度）	担当課
1	管理職への女性登用の推進（町役場） 事業所としての町の取り組みとして、能力や意欲のある女性の管理職への登用を推進します。	管理職の職員数における女性の割合（%）	25 26	25	25	25	令和7年度末時点管理職数（7級・8級） 管理職数：58名 うち女性　：15名（25.9%） 管理職への登用は、能力と実績に基づき任用していくことを基本としているものの、女性職員の比率は、年度によりばらつきが大きい状況となっている。これは、出産・子育て等を契機とする離職者等の発生によるものであるが、ここ数年は新規採用職員における女性の割合も高くなってきているほか、女性職員のキャリア形成に関する研修を企画するなど、取組を進めている。	A 2	管理職への登用は、男女の区別なく総合評価による抜擢人事としていることから、女性職員のみを優遇することは難しいが、仕事と家庭の両立に向けた各種制度の整備・周知もあり、目標を達成したことから、標記の評価とした。	人事課
2	管理職への女性登用の推進（事業所等） 町内の事業所等に対して、男女の雇用機会均等の啓発を行い、女性の雇用及び管理職への登用を促進します。	管理職数における女性の割合（%）	 －	10	 －	 －				町民窓口課
3	勤労者実態調査の実施 町内事業所に勤務する労働者の実態を明らかにし、労働行政の基礎資料とすることを目的に３年毎に実施し、その結果を事業所に周知します。	調査票の回収率（%）	 －	35	 －	 －				産業振興課

施策の内容（２）町審議会などへの女性委員の登用

事業番号	事業名 事業内容	事業名 指標	７年度目標値 実績	８年度目標値 実績	９年度目標値 実績	10年度目標値 実績	現状と課題（令和7年度）	評価 今後の方向性	評価の理由（令和7年度）	担当課
4	女性委員登用の推進 町審議会などの職指定委員の見直しを図り、女性委員の登用をより一層推進します。	町審議会の女性委員の登用率（%）	37 33	39	41	43	地方自治法（第202条の3）に基づく審議会等の女性の登用状況 該当する審議会等数　23 総委員数　388名 うち女性委員数　126名 女性委員比率　32．5% 公募委員の選考に当たっては、男女比に配慮して女性委員の登用を進めているが、委員の選出を団体や組織に依頼する場合が多く、その団体や組織の特性から女性が少ないといった個別の状況もある。また、職を指定している場合に、その職に女性が就いていないことも多い。 前年度（令和6年度28%）より女性委員の割合は増加しているが、目標には達していないため、引き続き選出方法の工夫・選出団体への女性登用の意識づけに取り組む必要がある。	B 2	前年度（令和6年度28%）より登用率が増加したが、目標を下回ったため。	町民窓口課

施策の内容（３）住民活動などにおける女性の活躍促進

事業番号	事業名 事業内容	事業名 指標	７年度目標値 実績	８年度目標値 実績	９年度目標値 実績	10年度目標値 実績	現状と課題（令和7年度）	評価 今後の方向性	評価の理由（令和7年度）	担当課
5	女性の活躍のための講座の開催 女性の活躍促進のための講座を開催し、女性リーダーの育成や住民活動等への参画を促進します。また、町以外で開催される講座等について情報提供します。	講座の参加人数（人）	100 87	100	100	100	神奈川県との男女共同参画推進市町村連携事業 実施日：2026年（令和8年）2月13日（金）～2026年（令和8年）2月26日（木） 実施場所：YouTubeによる動画配信 講　師：山田 亮氏 テーマ：主夫が長期入院して気が付いた！ 家族が家事に向かうコツ ～みんなで支えあい、楽しく働き続ける社会へ～ 参加者数：87名	B 2	出席者数が87人で、目標値を下回ったため。 固定的性別役割分担を前提とした長時間労働等の慣行を見直し、全ての人が希望に応じて、家庭でも仕事でも活躍できる社会を実現するため、意識改革として男女共同参画講演会や人権等についての講演会を開催することは意義のあることと考える。	町民窓口課

施策の基本的方向　２．働きたい、働き続けたい女性の支援
施策の内容（１）女性の人材育成の充実

事業番号	事業名 事業内容	指標	７年度目標値 実績	８年度目標値 実績	９年度目標値 実績	10年度目標値 実績	現状と課題（令和7年度）	評価 今後の方向性	評価の理由（令和7年度）	担当課
6	女性の活躍のための講座の開催（再掲） 女性の活躍促進のための講座を開催し、女性リーダーの育成や住民活動等への参画を促進します。また、町以外で開催される講座等について情報提供します。	講座の参加人数（人）	100 87	100	100	100	神奈川県との男女共同参画推進市町村連携事業 実施日：2026年（令和8年）2月13日（金）～2026年（令和8年）2月26日（木） 実施場所：YouTubeによる動画配信 講　師：山田 亮氏 テーマ：主夫が長期入院して気が付いた！ 家族が家事に向かうコツ ～みんなで支えあい、楽しく働き続ける社会へ～ 参加者数：87名	B 2	出席者数が87人で、目標値を下回ったため。 固定的性別役割分担を前提とした長時間労働等の慣行を見直し、全ての人が希望に応じて、家庭でも仕事でも活躍できる社会を実現するため、意識改革として男女共同参画講演会や人権等についての講演会を開催することは意義のあることと考える。	町民窓口課

事業番号	事業名 事業内容	指標	７年度目標値 実績	８年度目標値 実績	９年度目標値 実績	10年度目標値 実績	現状と課題（令和7年度）	評価 今後の方向性	評価の理由（令和7年度）	担当課
7	就労支援講座の開催 県や関係機関と共催し、就労支援のための講座を開催します。	講座の開催回数（回）	3 3	3	3	3	「企業と高校の情報交換会」令和7年6月18日（水）に開催。 参加企業52社（内、寒川町11社）、 参加高校20校 「湘南合同就職面接会」令和8年1月28日（水）に開催。 参加企業数34社（内、寒川町3社）、 求人件数72件、求人数169名、参加者数128人（男72人・女56人）、応募数181件、採用者数13人、不採用人数168人、相談・説明のみ30人 「寒川町合同企業説明会（旧寒川町ミニ面接会） 令和8年2月27日（金）に開催。 参加企業13社（内、寒川町9社、寒川町関連企業4社）、参加者数27人（男20人・女7人） 関連機関と協力して就労支援講座等を実施することができた。 今後も、関係機関と連携を図り就労支援をしていく必要がある。	A 2	就労支援に資する事業を関係機関と連携を図り、実施することができた。 令和6年との比較においても、湘南合同就職面接会では、参加者及び企業数、採用者数が増加。寒川町合同企業説明会(旧:寒川町ミニ面接会)では、企業数及び参加者数を増やすことができた。 一方で、企業と高校の情報交換会では、参加企業数及び高校ともに減少したが概ね目標を達成した。	産業振興課

施策の内容（２）女性の積極的な社会参画に関する情報提供

事業番号	事業名 / 事業内容	指標	７年度目標値 / 実績	８年度目標値 / 実績	９年度目標値 / 実績	10年度目標値 / 実績	現状と課題（令和7年度）	評価 / 今後の方向性	評価の理由（令和7年度）	担当課
8	男女共同参画に関する講座の情報提供 町内外で開催される、資格取得やスキルアップのための講座について情報提供します。	広報紙、ホームページ等での情報提供回数（回）	4 / 4	4 /	4 /	4 /	男女共同参画推進の講座として、神奈川県、藤沢市及び茅ケ崎市の講座について情報提供を行った。 〇男女共同参画特別講演会 「主夫が長期入院して気が付いた！家族が家事に向かうコツ ～みんなで支えあい、楽しく働き続ける社会へ～」 実施期間：2026年（令和8年）2月13日（金）～2026年（令和8年）2月26日（木） 実施場所：YouTubeによる動画配信 〇2市1町広域連携事業2件 ・藤沢市 「ジェンダー平等を考えよう」～地域社会・職場で誰もが自分らしく生きるために～ ・茅ケ崎市 「男らしさ、女らしさより「自分らしさ」が社会を変える」 〇かながわ男女共同参画センター 「女性を部下に持つ管理職向けセミナー」	A / 2	窓口へのチラシを配架やホームページを活用し、町外で開催される講座等の情報提供をすることができ、意識改革の機会提供やスキルアップなどの支援に努めることができたため。	町民窓口課

事業番号	事業名 / 事業内容	指標	７年度目標値 / 実績	８年度目標値 / 実績	９年度目標値 / 実績	10年度目標値 / 実績	現状と課題（令和7年度）	評価 / 今後の方向性	評価の理由（令和7年度）	担当課
9	求人に関する情報提供 役場ロビーにハローワークの求人検索のための検索端末等を設置し、情報提供に努めます。また、合同面接会等でも求人情報を提供します。	湘南合同就職面接会で求人情報を提供できた企業数（社）	30 / 30	30 /	30 /	30 /	ハローワーク藤沢、藤沢市、茅ケ崎市、鎌倉市、寒川町、神奈川県、藤沢商工会議所、茅ケ崎商工会議所、鎌倉商工会議所、寒川町商工会と合同で湘南合同就職面接会を開催した。 ・日時:令和8年1月28日（水） ・場所:藤沢商工会館ミナパーク 参加企業数34社（内、寒川町3社）、 求人件数72件、求人数169名、参加者数128人（男72人・女56人）、応募数181件、採用者数13人、不採用人数168人、相談・説明のみ30人 ハローワーク藤沢と合同で寒川町合同企業説明会を開催した。 ・日時:令和8年2月27日（金） ・場所:町民センター 参加企業13社（内、寒川町9社、寒川町関連企業4社）、参加者数27人（男20人・女7人） パソコンについては、令和7年に廃止。	A / 2	本庁舎1階の求人検索用のパソコンについては、利用者数の減少から費用対効果の面を考慮し、令和7年で廃止とした。 合同面接会については、指標としている湘南合同就職面接会の参加企業数の目標達成に加え、寒川町合同企業説明会（旧:寒川町ミニ面接会）を開催し、就労支援に資する取り組みが実施できた。	産業振興課

【基本目標Ⅰ】 推進協議会評価 （個別）	【基本目標Ⅰ】あらゆる分野での女性の活躍推進 ＜各事業について＞ 〇事業番号１：管理職への女性登用の推進（町役場） ・女性管理職になった方には、家庭とも両立し、是非長く勤めて頂きたい。その為には、周囲と協力し、また周囲も協力し、実績を重ねていって、後輩女性へとつなげていって欲しい。 ・女性管理職の割合が一定数確保されていることは評価できます。今後も、本人の意欲や適性を尊重しながら、女性職員が管理職を目指しやすい環境づくりを継続していただきたいと思います。 ・女性職員が将来のキャリアを具体的にイメージできるよう、研修や管理職との意見交換など、キャリア形成を支援する取組をさらに充実させていくことが重要だと感じました。 〇事業番号４：女性委員の登用の推進 ・審議会や各種委員会等における女性の参画をさらに進めるため、女性が意見を出しやすく、参加しやすい環境づくりについても検討していただきたいと思います。 〇事業番号５・６：女性の活躍のための講座の開催 ・女性の活躍を支援する講座等の実施は有意義だと思います。今後は参加者のニーズを把握し、実際の就労や地域活動、意思決定の場への参画につながる内容を取り入れていくことを期待します。 ・講座の参加人数は、目標値100人を下回ったとはいえ87人の参加者があり、半数は男性とのことで、男性にとっても家庭や職場の性別役割分担について考えるよい機会になったと思います。引き続き、より多くの方が参加されるよう開催方法や周知等工夫されますようお願いします。 ・100人の目標に対して87名の参加だったことによりB評価になっているが、YouTubeによる動画配信は、とても良い取り組みだと思います。違った角度からのテーマ「主夫が長期入院して気が付いた！」はみんなで支え合う題材として意識改革のひとつになったのではないかと考えます。今後も様々な角度から女性の活躍について考え、講座を開催することに期待します。 ＜総評について＞ ・講座の参加率が目標を下回ったものは講座の内容などを検討してみるのも一考かと考える。 ・企業の情報を集めるにはアンケートでよろしいかと思います。全体的に評価します。継続をお願いします。 ・成果が上がっている様子なので、今後も計画通りに取り組みを進めてほしい。 ・全体的に、概ね目標を達成できていると評価できます。 ・講座の開催等、女性の活躍推進に向け、引き続き関係機関と連携されて、取組を進められてください。 ・女性の割合など具体的な数値による進捗確認に加え、女性が実際にどのような立場で意見を発信し、活躍できているのかという質的な部分についても評価できる指標があると、より取組の成果が分かりやすくなると感じました。
【基本目標Ⅰ】 推進協議会評価 （事務局案）	＜各事業について＞ 〇事業番号１：管理職への女性登用の推進（町役場） ・女性管理職の割合が一定数確保されていることは評価できる。 ・本人の意欲や適性を尊重しながら、女性職員が管理職を目指しやすい環境づくりを継続していただきたい。 ・研修や管理職との意見交換など、女性職員のキャリア形成を支援する取組を一層充実させていただきたい。 ・管理職となった女性には、周囲と協力しながら家庭と両立して長く活躍し、その経験を後輩女性へつないでいただきたい。 〇事業番号４：女性委員の登用の推進 ・審議会や各種委員会等における女性の参画をさらに進めるため、女性が意見を出しやすく、参加しやすい環境づくりについても検討していただきたい。 〇事業番号５・６：女性の活躍のための講座の開催 ・今後も様々な視点から女性の活躍について考える講座を開催していただきたい。 ・YouTubeによる動画配信は良い取り組みと評価できる。 ・参加者のニーズを把握し、就労や地域活動、意思決定の場への参画につながる内容を取り入れていただきたい。 ・参加者は目標の100人に届かなかったものの87人で、その半数が男性であり、性別役割分担を考える良い機会になったと評価できる。 ・より多くの方に参加していただけるよう、開催方法や周知の工夫をしていただきたい。 ＜総評について＞ 引き続き関係機関と連携しながら、取組を継続していただきたい。全体的に目標は概ね達成しており、成果が上がっていると評価できる。一方で、講座の参加人数が目標を下回ったものについては、内容の見直しを検討するとともに、企業の情報収集にはアンケートを活用するなど、実態把握を進めていただきたい。数値による進捗確認に加え、女性が実際にどのような立場で意見を発信し、活躍しているのかといった質的な面も評価できる指標を設け、取組の成果がよりわかりやすくなるようにしていただきたい。

〈基本目標Ⅱ　人権の尊重とあらゆる暴力の根絶〉

施策の基本的方向　１．あらゆる暴力防止の対策
施策の内容（１）配偶者などからの暴力防止に関する意識啓発と被害者への支援

事業番号	事業名 / 事業内容	指標	７年度目標値 / 実績	８年度目標値 / 実績	９年度目標値 / 実績	10年度目標値 / 実績	現状と課題（令和7年度）	評価 / 今後の方向性	評価の理由（令和7年度）	担当課
10	暴力防止に関する意識啓発 広報紙等を通じてＤＶに関する情報発信を行い、暴力防止に関する意識啓発を行います。	啓発回数（回）	4 4	4	4	4	・引き続きホームページへの掲載を行った。 ・2市1町広域連携事業において、デートDVの防止に向けた啓発リーフレットを作成し、寒川高校へ配付、公共機関での配架を行った。（チラシ1，000部） ・窓口や公共施設のトイレにチラシ等を置き、相談窓口の情報提供を行った。 ・経済的な理由で生理用品を購入することが難しい方に、防災備蓄用の生理用品を無償で配布。（令和3年8月2日～）生理用品配布の際に、女性相談、DV相談等に関するチラシを併せて配布した。 ・今後も様々な機会を捉え、情報提供を行っていけるよう検討していく。	A 2	ホームページへの掲載を継続し、リーフレットの配布、生理用品配付時に女性相談等に関するチラシを配付することで、周知を図ることができたため。	町民窓口課

事業番号	事業名 / 事業内容	指標	７年度目標値 / 実績	８年度目標値 / 実績	９年度目標値 / 実績	10年度目標値 / 実績	現状と課題（令和7年度）	評価 / 今後の方向性	評価の理由（令和7年度）	担当課
11	ＤＶ等に関する相談や関係機関との連携 関係機関と連携しながらＤＶ等に関する相談を受けるとともに、緊急一時保護事業に関する協定に基づき、ＤＶ被害者の緊急一時保護に向けた支援を行います。	関係機関との情報交換機会回数（回）	2 2	2	2	2	・相談を随時受付 ・県女性相談支援員との連携（情報共有）2回 町で相談を受けた際は、平塚保健福祉事務所茅ケ崎支所と連携を取り、相談にあたっている。また、平塚保健福祉事務所茅ケ崎支所で受けた相談であっても、各種手続きで来庁される場合など連絡を取り合って対応している。今後も適宜、情報提供できるよう努めていく。 町のDV相談受付件数：10件	A 2	平塚保健福祉事務所茅ケ崎支所と定期的に情報交換を行うなど、スムーズな連携が取れたため。	町民窓口課

施策の内容（２）各種ハラスメント防止対策の推進

事業番号	事業名	事業内容	指標	７年度目標値 / 実績	８年度目標値 / 実績	９年度目標値 / 実績	10年度目標値 / 実績	現状と課題（令和7年度）	評価 / 今後の方向性	評価の理由（令和7年度）	担当課
12	町役場における各種ハラスメント防止体制の充実	町職員間における各種ハラスメントの根絶に向けて、相談しやすい職場の雰囲気づくりや周知を行い、相談体制の充実を図ります。	処分の件数（回）	0 / 0	0 /	0 /	0 /	町職員向けグループウェア内に人事課宛ての相談窓口を開設するほか、令和7年度については、部長・課長級職員を対象に、ハラスメントの原因ともなりうる、ストレスマネジメントに関する研修（令和8年2月17日、48名参加）を実施した。 町職員間の信頼関係を築くためのコミュニケーションスキルについても併せて習得し、町職員間の認識のズレによって生じるハラスメントを防止するとともに、働きやすい環境づくりに役立てる手法を学んだ。	A / 2	啓発や研修により、ハラスメントが発生しないような職場環境づくりに努め、目標を達成したことから標記の評価とした。	人事課
事業番号	事業名	事業内容	指標	７年度目標値 / 実績	８年度目標値 / 実績	９年度目標値 / 実績	10年度目標値 / 実績	現状と課題（令和7年度）	評価 / 今後の方向性	評価の理由（令和7年度）	担当課
13	各種ハラスメント防止に関する啓発や各種相談窓口の情報提供	広報紙などを活用し、各種ハラスメント防止に関する啓発や関係機関における各種相談窓口の情報提供を行います。	啓発回数（回）	2 / 2	2 /	2 /	2 /	ホームページへの掲載を行い、相談窓口の情報提供を行った。 引き続き、より有意義な情報提供をどのように実施していくのかを検討していく。 また、経済的な理由等で生理用品を購入することが難しい方に、防災備蓄用の生理用品を無償で配布。（令和3年8月2日～）生理用品配布の際に、女性相談、DV相談等に関するチラシを併せて配布した。	A / 2	ホームページへの掲載を継続し、生理用品配付時に女性相談等に関するチラシを配付することで、周知を図ることができたため。	町民窓口課

施策の基本的方向　２．人権尊重のための対策
施策の内容（1）人権侵害防止のための支援

事業番号	事業名		７年度目標値	８年度目標値	９年度目標値	10年度目標値	現状と課題（令和7年度）	評価	評価の理由（令和7年度）	担当課
	事業内容	指標	実績	実績	実績	実績		今後の方向性		
14	各種相談の実施や人権に関する情報提供		4	4	4	4	人権擁護委員の日にちなみ、６月２日にJR寒川駅改札前において、１１月に産業まつりにおいて、１２月に町内スーパーマーケット2か所において人権に関する啓発活動を実施した。	A	目標どおり啓発活動を4回実施することができ、町民への人権意識の啓発を図ることができた。	町民窓口課
	人権相談など各種相談を実施し、関係機関との連携を図ります。また、人権に関する様々な情報提供を行うとともに、街頭での啓発活動などを通じて町民への意識啓発を行います。	街頭での人権啓発活動回数（回）	4					2		

施策の基本的方向　３．生涯を通じた心身の健康づくりの充実
施策の内容（１）男女の心とからだの健康づくりへの支援

事業番号	事業名		７年度目標値	８年度目標値	９年度目標値	10年度目標値	現状と課題（令和7年度）	評価	評価の理由（令和7年度）	担当課
	事業内容	指標	実績	実績	実績	実績		今後の方向性		
15	健康運動ボランティア地域活動支援		40	40	40	40	現状（実績） ①健康づくり体操の日 4/10、4/24、5/8、5/29、6/12、6/27、7/9、7/23、8/7、8/21、9/3、9/18、10/16、10/30、11/20、11/26、12/11、12/24、1/8、1/29、2/18、2/25、3/4、3/19　計24回開催。 ②出前講座 自治会等からの依頼：11件。 延べ参加人数：767人。（男女内訳なし） ③町事業等での協力 食育ひろば6/8、オレンジフェスタ9/6、レクフェス9/7、寒川町文化祭10/4、ふれあい福祉フェス10/11、計5件 課題 健康づくり体操の日（①）に関して、男性の参加率が16.4%と依然として低い結果となった（令和6年の参加率17.8%）。	A	健康づくり体操の日（①）に関して、全体の参加者数・男性参加率ともに、横ばいで推移している。 今後は、実施回数の目標達成に引き続き注力するとともに、町民の健康維持・増進に寄与できるよう努める。また、男性の参加を促進するために、男性にも興味のある内容等を検討し、広報をはじめとする周知を強化していく。	健康づくり課
	地域の実情やライフステージに合わせた健康づくりとして、町民が自主的に健康づくりや生活習慣病予防や健康維持・増進に取り組む機会の場を提供することで、健康づくりにおいて重要な要素となる町民のつながりの維持を図ります。	健康運動ボランティア地域活動実施回数（回）	40					1		

施策の内容（２）性に関する正しい知識と普及啓発

事業番号	事業名		７年度目標値 / 実績	８年度目標値 / 実績	９年度目標値 / 実績	10年度目標値 / 実績	現状と課題（令和7年度）	評価 / 今後の方向性	評価の理由（令和7年度）	担当課
	事業内容	指標								
16	豊かな心・文化育成事業		10	10	10	10	町内小・中学校において、学習指導要領に基づいて、保健体育科や特別の教科　道徳科などの各教科、総合的な学習の時間等を通じて、性に関する内容を取り扱い、適切に指導を図った。 性教育に関しては、正確な理解を通して適切な行動に結びつくことから、今後も子どもの発達段階に応じて、教育活動の機会を捉えて適宜指導することが必要である。 また、「多様な性」について理解する必要がある。	A	町立小・中学校において、子どもたちの発達段階や実態に応じて性教育に関する指導を行った。特にデリケートな内容については、男女を分けて指導したり、養護教諭等と連携して対応したりすることにより、個の事情に応じた指導につなげている。 また、各学校においては、外部の人材を招き、「性の多様性」や「生命」に関わる授業を行った。	学校教育課
	教科や道徳の時間、総合的な学習の時間等を通して、性教育を推進します。	性教育実施時間数（時間）	10					2		

【基本目標Ⅱ】 推進協議会評価 （個別）	【基本目標Ⅱ】人権の尊重とあらゆる暴力の根絶 ＜各事業について＞ 〇事業番号14：各種相談の実施や人権に関する情報提供 ・町民の方々が大勢集まるイベントや場所等を活用しての人権意識の啓発活動はより効果が期待でき評価できます。 〇事業番号15：健康運動ボランティア地域活動支援 ・男性の参加が少なめという事だったので、高齢男性の意識を変えていく方法を考えていく事が必要かと思われる。 〇事業番号16：豊かな心・文化育成事業 ・多様な性についての教育を推進することで、LGBTQ+など様々な子どもへの理解が深まり、生きやすい世の中に変化していってくれると良い。制服や更衣室、トイレの多様化等、とても良い取り組みだと考える。また教育によって、この子達が大人になった時には多様化がごく普通の事として受け入れられるような世の中に少しずつでも変化している事を期待する。 ＜総評について＞ ・全体的に実績が達成されているのでとても評価出来る。 ・評価します。 ・成果があがっているので、今後も活動を進めて欲しい。 ・全体的に、概ね目標を達成できていると評価できます。 ・暴力や人権に関する問題を抱えた方が、早い段階で相談につながることが重要だと思います。相談窓口や支援制度について、より分かりやすく周知をしていく取組を期待します。 ・暴力や虐待等の未然防止だけでなく、早期発見・早期対応につながる関係機関との連携をさらに強化していくことが重要だと感じました。 ・子どもの頃から自分や相手の人権を尊重する意識を身につけることが大切だと思います。学校や地域と連携した人権教育・啓発の取組を継続していただきたいです。 ・ＤＶや虐待などの問題は、被害が表面化しにくい場合もあるため、相談しやすい環境づくりと、相談後の継続的な支援体制の充実が必要だと感じました。 ・人権や暴力防止について、講座や広報などを通じて幅広い世代に継続的に伝えていくことが大切だと思います。特に若い世代にも届きやすい情報発信の工夫を期待します。
【基本目標Ⅱ】 推進協議会評価 （事務局案）	＜各事業について＞ 〇事業番号14：各種相談の実施や人権に関する情報提供 ・町民の方々が大勢集まるイベントや場所等を活用しての人権意識の啓発活動はより効果が期待でき評価できる。 〇事業番号15：健康運動ボランティア地域活動支援 ・男性の参加が少なかったことを踏まえ、特に高齢男性の意識改革につながる働きかけの方法を検討していただきたい。 〇事業番号16：豊かな心・文化育成事業 ・多様な性についての教育を推進することで、LGBTQ+など様々な子どもへの理解が深まり、誰もが生きやすい社会につながることが望まれる。 ・制服・更衣室・トイレの多様化といった取組は高く評価できる。 ・教育によって、今後多様性が当たり前に受け入れられる社会になることを期待する。 ＜総評について＞ 概ね目標を達成できていると評価できる。今後は、暴力や人権に関する問題を抱えた方が早期に相談につながるよう、相談窓口や支援制度の周知を強化し、関係機関との連携による早期発見・早期対応と、相談後の継続的な支援体制の充実に努めていただきたい。 また、学校や地域と連携した人権教育・啓発を継続し、若い世代にも届く情報発信をしていただきたい。

〈基本目標Ⅲ　ワーク・ライフ・バランス推進のための取組〉

施策の基本的方向　１．誰もが働きやすい就業環境づくり

施策の内容（１）ワーク・ライフ・バランスについての理解促進

事業番号	事業名 / 事業内容	指標	７年度目標値 / 実績	８年度目標値 / 実績	９年度目標値 / 実績	10年度目標値 / 実績	現状と課題（令和7年度）	評価 / 今後の方向性	評価の理由（令和7年度）	担当課
17	ワーク・ライフ・バランスに関する企業への啓発		3	3	3	3	県等から提供された情報を、ホームページ等による周知により、町内事業者に対する啓発を図った。	A	ホームページ等による周知を行うことで、町内事業者に対する啓発を図ることができたため。	産業振興課
	国や県からのチラシ・パンフレットを町内事業所に対して配布し、制度の周知や普及の促進を図ります。	企業への啓発回数（回）	3					2		

施策の内容（２）女性の就業・雇用環境改善のための支援の充実

事業番号	事業名 / 事業内容	指標	７年度目標値 / 実績	８年度目標値 / 実績	９年度目標値 / 実績	10年度目標値 / 実績	現状と課題（令和7年度）	評価 / 今後の方向性	評価の理由（令和7年度）	担当課
18	労働相談に関する情報提供		3	3	3	3	県や各関係機関が実施する各事業や相談先について、町ホームページで情報提供を行った。	A	県等の労働者相談先についての情報提供及び、女性キャリアカウンセリング等の情報提供を窓口で行い、目標を達成した。	産業振興課
	広報紙やホームページ等で労働相談窓口などの情報提供を行うとともに、相談内容に応じて関係機関を紹介するなど、労働相談に関する情報提供を行います。　また、関係機関と協力し労働者向けに労働に関する相談会を実施します。※雇用情勢により実施しない場合もあります。	広報紙・ホームページ等での情報提供回数（回）	3					2		

事業番号	事業名		７年度目標値	８年度目標値	９年度目標値	10年度目標値	現状と課題（令和7年度）	評価	評価の理由（令和7年度）	担当課
	事業内容	指標	実績	実績	実績	実績		今後の方向性		
19	労働講座の開催		1	1	1	1	労働問題懇話会との共催で労働講座を開催した。 日時:令和8年2月4日（水）18:30～20:00 場所:町民センター1階　展示室2 テーマ:労働法の基礎知識「労働基準法の基礎」 講師:神奈川県かながわ労働センター湘南支所職員 参加者数:33名	A	関係機関と連携し、勤労者のための労働講座を実施。	産業振興課
	関係機関と協力し、労働環境の改善に関する講座を開催します。	開催回数（回）	1					2		

施策の内容（３）育児・介護に関する制度の理解と普及の促進

事業番号	事業名		７年度目標値	８年度目標値	９年度目標値	10年度目標値	現状と課題（令和7年度）	評価	評価の理由（令和7年度）	担当課
	事業内容	指標	実績	実績	実績	実績		今後の方向性		
20	育児休業取得の促進		100	100	100	100	配偶者が出産した男性職員：7名 育児休業を取得した男性職員：6名(取得日数：30日、54日、54日、183日、59日、31日) ※うち2名は令和8年度に取得 なお、配偶者が出産した男性職員7名の特別休暇の取得状況は次のとおり。 出産付添いの特別休暇(3日以内)：7名(各1～3日) 育児参加のための休暇(5日以内)：7名(各1～5日)	B	対象となる職員に対して育児に伴う休暇休業について制度周知を図ったものの、目標には未達であったことから標記の評価とした。	人事課
	町職員が男女ともに育児休業を取得しやすい環境を整備し、子育ての支援を図ります。	男性職員の育児休業取得率（%）	86					2		

事業番号	事業名 / 事業内容	指標	7年度目標値 / 実績	8年度目標値 / 実績	9年度目標値 / 実績	10年度目標値 / 実績	現状と課題（令和7年度）	評価 / 今後の方向性	評価の理由（令和7年度）	担当課
21	介護休業取得の促進 町職員が男女ともに介護休業を取得しやすい環境を整備し、介護への支援を図ります。	介護離職件数（回）	0 / 0	0 /	0 /	0 /	家族の介護等を行う職員からの制度等の相談について制度周知を図るとともに、詳細について説明を行っている。	A / 2	対象となる職員に対して介護に伴う休暇休業についての制度の周知を図り、目標を達成したことから標記の評価とした。	人事課
22	ワーク・ライフ・バランスに関する企業への啓発（再掲） 国や県からチラシ・パンフレットを町内事業所に対し配布し、制度の周知や普及の促進を図ります。	企業への啓発回数（回）	3 / 3	3 /	3 /	3 /	県等から提供された情報を、ホームページ等による周知により、町内事業者に対する啓発を図った。	A / 2	ホームページ等による周知を行うことで、町内事業者に対する啓発を図ることができたため。	産業振興課

施策の基本的方向　２．仕事と家庭・地域活動との両立の支援
施策の内容（１）子育て・ひとり親家庭への支援

事業番号	事業名 / 事業内容	指標	７年度目標値 / 実績	８年度目標値 / 実績	９年度目標値 / 実績	10年度目標値 / 実績	現状と課題（令和7年度）	評価 / 今後の方向性	評価の理由（令和7年度）	担当課
23	保育環境充実事業 認可保育所や認可外保育施設、私立幼稚園に給付費や補助金を支出することにより、保育所の設備及び運営基準の維持、事業の充実を図ります。	在園児童数が定員に達していない施設数（箇所）	0 2	0	0	0	共働き家庭が増え、仕事と家庭との両立を支援するため、認可保育所等に通常保育事業の実施を委託し、併せて事業に対して助成を行った。 入所希望施設について、通いやすい施設や兄弟同園にしたい等希望園が集中する傾向にあるため、確保提供量は増となっているが、待機児童が解消されない。	B 2	在園児童数が定員に達していない施設数が令和７年度末２施設となったため、評価を「B」とした。 達成しなかった２施設のうち１施設については令和７年４月に認定こども園に移行した初年度になるので、すぐには定員に達することは困難である等理由があるが、今後も引き続き保護者へのご案内をわかりやすく丁寧に行っていく。	保育幼稚園課

事業番号	事業名 / 事業内容	指標	７年度目標値 / 実績	８年度目標値 / 実績	９年度目標値 / 実績	10年度目標値 / 実績	現状と課題（令和7年度）	評価 / 今後の方向性	評価の理由（令和7年度）	担当課
24	子育て支援相談事業 子育て全般についての相談指導と育児情報の提供を行います。	相談への対応率（%）	100 100	100	100	100	相談日：月から金　9:00～17:00 相談件数784件 課題等：育児不安を抱える家庭は増加の傾向にあり、相談内容も多岐に渡り、複雑化・長期化の傾向がある。	A 2	子育て支援相談件数は年々増加傾向にある。要因としては近年の対面相談の機会の増加、子どもの面前でのDVや、ひとり親に関する相談の増加等が考えられる。令和6年度からは子育て相談支援員も増員し相談には全数対応できたが、複雑で多岐に渡る課題を持ち合わせる家庭が多く、相談支援も長期化していることが課題である。今後も継続した取り組みが必要である。	子育て支援課

事業番号	事業名 / 事業内容	指標	7年度 目標値 / 実績	8年度 目標値 / 実績	9年度 目標値 / 実績	10年度 目標値 / 実績	現状と課題（令和7年度）	評価 / 今後の方向性	評価の理由（令和7年度）	担当課
25	児童クラブ運営事業 保護者が労働等により放課後等家庭にいない児童に、適切な遊びや生活の場を与え、児童の健全な育成を推進します。	入所児童数（人）	335 307	345	355	365	開所日260～285日（クラブによって異なる） 自宅で保育を受けることができない児童を受け入れることにより、保護者の就労や女性の社会進出を支援する。各児童クラブの運営負担を軽減するため寒川学童保育会に一括して運営委託を行った。 例年4月の待機児童が多く、令和7年度は低学年でも入所できない児童がいる状況であったが、夏季休業終了後、退所児童が増え、年度末にはクラブによっては空ができてしまう状況がある。	B 2	入所児童数が目標値に達成していないため、評価「B」とした。 年度当初の待機児童は存在するので、解消できるか分析するために令和8年度から3年間サマースクールを実施し、分析後、今後の方向性を検討していく。	保育幼稚園課

事業番号	事業名 / 事業内容	指標	7年度 目標値 / 実績	8年度 目標値 / 実績	9年度 目標値 / 実績	10年度 目標値 / 実績	現状と課題（令和7年度）	評価 / 今後の方向性	評価の理由（令和7年度）	担当課
26	ひとり親家庭等医療費助成事業 ひとり親家庭等の人が病院等を受診したときに支払う医療費のうち、保険診療分の自己負担額を助成します（所得制限有り）。	助成率（%）	100 100	100	100	100	ひとり親家庭等医療費助成事業の該当者に対し、窓口等において周知するとともに、助成対象者に対する助成を実施した。 R7助成対象者数：789人 （R6助成対象者数：801人） （参考） 児童扶養手当非受給世帯及び人数 R3　：17世帯（39人） R4　：18世帯（40人） R5　：22世帯（49人） R6　：18世帯（42人） R7　：20世帯（41人）	A 2	離婚や死亡、転入転居等の手続きの機会に窓口や電話で説明・周知を行っている。その後の世帯や所得の状況の変化により申請しないケースがあると思われるが、該当者への周知や助成対象者への助成は実施できている。	子育て支援課

施策の内容（２）男性の家事・育児・介護などへの参加の促進

事業番号	事業名 事業内容	指標	７年度目標値 / 実績	８年度目標値 / 実績	９年度目標値 / 実績	10年度目標値 / 実績	現状と課題（令和7年度）	評価 今後の方向性	評価の理由（令和7年度）	担当課
27	父親・母親教室の開催		100	100	100	100	計画通り5コースを開催した。延べ妊婦78人　夫59人参加。各コース3日目の日曜日は、妊婦とパートナー2人での参加は、令和７年度は妊婦１人での参加が1名、パートナー1人での参加が1名であり、他は全員が妊婦とパートナーでの参加であった。 参加延べ人数（妊婦+夫）に対する夫（パートナー）の割合は年々増加し、H29年度23.8%であったが、R7年度75.6%となっている。	B	近年、父親・母親教室の妊婦の夫参加割合は増加が続いており、教室満足度調査の結果、妊婦の夫はR3年度の93.8%から上昇しR6年度は100%、令和7年度は96.3%となっている。また就労していない初産婦はR6年度22.4%、R7年度22%であり、平日の教室の参加が難しくなっている現状があり、R7年度から平日の開催を3日から2日に減らし、就労している初産婦も参加しやすい教室のプログラムとした。 　令和7年度の参加者の満足度は96%と高かったが、目標値に達しなかったため、B評価とした。	子育て支援課
	妊婦とそのパートナーを対象にした、妊娠・出産・育児や家庭づくり等についての講座の開催を通じて、男女が協力して家事や育児を行うことについて意識啓発を図ります。	参加者の満足度（%）	96					2		

事業番号	事業名 事業内容	指標	７年度目標値 / 実績	８年度目標値 / 実績	９年度目標値 / 実績	10年度目標値 / 実績	現状と課題（令和7年度）	評価 今後の方向性	評価の理由（令和7年度）	担当課
28	母子訪問指導事業		1,000	1,000	1,000	1,000	出生数は減少しているが、母子保健担当保健師の増員により訪問件数は昨年より増加した。 新生児・乳児期の訪問時、育児休業中の父親が訪問に同席する場合もあり、両親に向けた育児支援を実施している。	A	母子健康手帳交付時に父向けのリーフレットを配布し、父親の育児参加を促している。産後の訪問についても妊娠中や出産後に父親に直接周知することで、受け入れも良好である。 　訪問時には、男性の育児参加への意識啓発も実施できていることから評価はAとした。	子育て支援課
	乳幼児を育てている家庭を訪問し、育児状況の確認や子どもと養育者の心身の健康づくりへの助言等と併せて、男性の育児参加への意識啓発を行います。	母子訪問合計件数（件）	1,360					2		

事業番号	事業名 / 事業内容	指標	7年度 目標値 / 実績	8年度 目標値 / 実績	9年度 目標値 / 実績	10年度 目標値 / 実績	現状と課題（令和7年度）	評価 今後の方向性	評価の理由（令和7年度）	担当課
29	介護教室の開催	講座の参加人数（人）	40 / 104	40 /	40 /	40 /	○家族介護教室 家族介護教室を開催、21名参加（男性6名、女15名）男女問わず、医療や介護が必要になった時のことなどをカードゲームを通して考えるきっかけとなるような内容を展開。 今後も取り上げるべきテーマやトピックを充分検討のうえ開催予定。 ○認知症高齢者介護教室（認知症サポーターステップアップ講座） 住民向けの講座を5回、町内の介護事業所への講座を1回実施し、合計83名（男性25名、女58名）の参加があった。次年度も継続的に講座を開催し、認知症になっても過ごしやすい町づくりを目指す。	A / 2	○家族介護教室 実際に体験したことで、参加者の理解が深まり、家族と話題にしにくかった内容について具体的に話し合う意向が高まったため。 ○認知症高齢者介護教室（認知症サポーターステップアップ講座） 認知症サポーター養成講座を終了した方向けの講座であり、グループワークを実施することで参加者が主体的に認知症の方の気持ちとかかわり方について考えられる教室になっているため。	高齢介護課
	介護技術・対応方法を習得するための講習会の開催を通じて、男女がともに介護を担うことの意識啓発を図ります。									

施策の内容（３）地域活動への参加の促進

事業番号	事業名 / 事業内容	指標	7年度 目標値 / 実績	8年度 目標値 / 実績	9年度 目標値 / 実績	10年度 目標値 / 実績	現状と課題（令和7年度）	評価 今後の方向性	評価の理由（令和7年度）	担当課
30	公民館講座（男性向け講座）の開催	講座の開催回数（回）	3 / 3	3 /	3 /	3 /	対象者を男性に限定した公民館講座を開催した。 【町民センター】 ●シニア男性体操教室 9/24（水）開催、6人参加 2/17（火）開催、7人参加 【北部公民館】 ●メンズクッキング教室 2/15（日）、12人参加	A / 2	公民館講座参加者の男女比は3:7であり、圧倒的に女性の利用が多い。男性の地域活動への参加に対する意識づけを促進に向け、今後も継続していく。	生涯学習課
	公民館講座を通じて、男性の地域活動への参加に対する意識づけを促進します。									

事業番号	事業名 / 事業内容	指標	7年度 目標値 / 実績	8年度 目標値 / 実績	9年度 目標値 / 実績	10年度 目標値 / 実績	現状と課題（令和7年度）	評価 / 今後の方向性	評価の理由（令和7年度）	担当課
31	ファミリーサポートセンター事業 育児の援助を受けたい人と行う人が会員となって一時預かり等の事業を行うことにより、育児世代の地域活動への参加を支援します。	活動件数（件）	2,460 2,635	2,417	2,366	2,296	7年度末の会員数については、おねがい会員662人、まかせて会員115人、どっちも会員125人であった。 課題等：おねがい会員数に対し、まかせて会員数が少ない。引き続きおねがい会員からまかせて会員やどっちも会員に登録していただける会員を増やしていくことや、事業内容の周知に引き続き取り組んでいく必要がある。	A 2	活動件数は目標値を達成した。 学童保育開始前の援助及び送迎、登校前の援助、習い事の援助、保護者の買物などの外出の際の援助による利用が多かった。	子育て支援課

事業番号	事業名 / 事業内容	指標	7年度 目標値 / 実績	8年度 目標値 / 実績	9年度 目標値 / 実績	10年度 目標値 / 実績	現状と課題（令和7年度）	評価 / 今後の方向性	評価の理由（令和7年度）	担当課
32	生涯学習に関する情報提供 さむかわ町民大学、出前講座、生涯学習人材登録等の学習情報を提供し、地域活動への参加を支援します。	広報紙、ホームページ、パンフレットでの啓発回数（回）	6 10	6	6	6	男女を問わず、生涯学習に関する情報を提供した。 1.2.さむかわ町民大学講座等メニューパンフレット（年2回発行） 各200部発行 3.さむかわ出前講座メニュー紹介パンフレット 4.生涯学習人材登録制度「ステップアップ」メニュー紹介パンフレット 5.生涯学習人材登録制度「ステップアップ」登録者募集パンフレット 6～9.子ども生涯学習情報紙「すきっぷ」（年4回発行） 10. ホームページで上記1～9情報掲載	A 3	生涯学習支援に関する主催事業について、紙によるパンフレットやホームページに掲載して情報提供を行った。 「さむかわ町民大学」は該当講座が概ね公民館講座であり、「公民館利用ガイド」で年間メニューを紹介していることから、令和7年度をもって「さむかわ町民大学」事業は廃止した。また、令和6年度まで発行していた「さむかわ生涯学習総合案内」はホームページ等で同様の情報は掲載しているほか、パンフレット発行による効果・成果が測れないため、事業を見直し、紙による発行は令和7年度は中止した。 子ども生涯学習情報紙「すきっぷ」は、町内保育園、幼稚園、子ども園、小学校を通じて全幼児、小学生に配布しており、子ども対象事業だけでなく親子参加や保護者向けの情報も掲載していることから親子での地域活動への参加を支援する媒体となっているため、令和7年度から本事業実績に追加した。	生涯学習課

【基本目標Ⅲ】 推進協議会評価 （個別）	【基本目標Ⅲ】ワーク・ライフ・バランス推進のための取組 ＜各事業について＞ 〇事業番号20：育児休業取得の促進 ・育休取得の実績が100%にならなかったのは残念だ。 ・人事課の行動指針としてイマジネーション・共感・共生・心理的安全性・品格をもつことを掲げていることを伺いました。育児休業を取得することがその後の子どもとのセッションにおいてどのような関係性ができるのか想像することができれば、もっと取得しようと思ってくれる人が増えるのではないか、取得した人が増えていくことにより共感が得られるのではないかと考えます。 〇事業番号21：介護休業取得の促進 ・職員の制度の利用については、制度周知を図るとともに詳細についても説明され、また取得しやすい環境の整備等をされて目標の達成を継続していただきたいと思います。 〇事業番号25：児童クラブ運営事業 ・サマースクールを実施する事で、4月の待機児童や夏休み後の対策になるか、是非試みていただきたい。 ＜総評について＞ ・父親・母親教室の夫の参加率は高く、介護教室の男性参加率が低いとの事。年代によって随分差がある。高齢男性の意識を変えていくことが大切かと思う。 ・全体的に目標達成していると評価します。 ・成果が出ているので、今後も取り組みを継続してほしい。 ・全体的に、概ね目標を達成できていると評価できます。 ・ホームページ等での情報発信だけでは、必要な情報が十分に届かない場合もあると思います。より多くの方に知ってもらえるよう、SNSや広報紙など、幅広い情報発信の方法を検討していただきたいです。 ・制度が整っていても、実際に利用しやすい環境がなければ十分な効果につながらないと思います。制度を利用しやすい職場の雰囲気づくりも重要だと感じました。 ・ワーク・ライフ・バランスは子育て世帯だけのものではなく、介護や自身の生活、趣味など、誰にとっても関わることだと思います。幅広い世代を対象とした取組を進めていただきたいです。 ・女性の負担軽減という視点だけでなく、男性が育児や家事に主体的に関わることを当たり前にしていくための啓発も、引き続き重要だと感じました。 ・制度や取組を周知するだけでなく、実際に働いている方がどのようなことを負担に感じているのか、現場の声を聞く機会を設けることで、より実効性のある取組につながるのではないかと思います。
【基本目標Ⅲ】 推進協議会評価 （事務局案）	＜各事業について＞ 〇事業番号20：育児休業取得の促進 ・育休取得実績は100%を目指していただきたい。 ・育児休業の取得によって、その後の子どもとの関係性がどのように深まるのかを具体的にイメージできる情報発信を行っていただきたい。それにより取得を希望する職員が増え、取得者の増加がさらなる共感を生む好循環につなげていただきたい。 〇事業番号21：介護休業取得の促進 ・職員の制度の利用については、制度周知を図るとともに詳細についても説明され、また取得しやすい環境の整備等をされて目標の達成を継続していただきたい。 〇事業番号25：児童クラブ運営事業 ・サマースクールを実施する事で、4月の待機児童や夏休み後の対策になるか、試みていただきたい。 ＜総評について＞ 全体として、各取組は概ね目標を達成しており、成果が上がっていると評価できる。今後は、SNSや広報紙など幅広い手段での周知を工夫するとともに、誰もが利用しやすい職場の雰囲気づくりに努めていただきたい。また、ワーク・ライフ・バランスは育児に限らず介護等も含め誰にとっても関わるものであることから、特に高齢男性の意識啓発を進め、男性が育児・家事・介護に主体的に関わる環境づくりを進めていただきたい。あわせて、現場の声を聞く機会を設け、実効性のある取組につなげていただきたい。

〈基本目標Ⅳ　ジェンダー平等の意識啓発の推進〉

施策の基本的方向　１．人権の尊重と多様性についての理解の促進

施策の内容（１）職場や地域における意識啓発

事業番号	事業名 事業内容	事業名 指標	７年度目標値 実績	８年度目標値 実績	９年度目標値 実績	10年度目標値 実績	現状と課題（令和7年度）	評価 今後の方向性	評価の理由（令和7年度）	担当課
33	男女共同参画に関する講座の開催		100	100	100	100	神奈川県との男女共同参画推進市町村連携事業 実施日：2026年（令和8年）2月13日（金）～2026年（令和8年）2月26日（木） 実施場所：YouTubeによる動画配信 講　師：山田 亮氏 テーマ：主夫が長期入院して気が付いた！ 家族が家事に向かうコツ ～みんなで支えあい、楽しく働き続ける社会へ～ 参加者数：87名	B	出席者数が87人で、目標値を下回ったため。 固定的性別役割分担を前提とした長時間労働等の慣行を見直し、全ての人が希望に応じて、家庭でも仕事でも活躍できる社会を実現するため、意識改革として男女共同参画講演会や人権等についての講演会を開催することは意義のあることと考える。	町民窓口課
	事業所向けまたは生活に密着した視点から男女共同参画に関する講座を開催し、職場や地域における男女共同参画への意識啓発を図ります。	講座の参加人数（人）	87					2		

施策の内容（２）家庭における意識啓発

事業番号	事業名 事業内容	事業名 指標	７年度目標値 実績	８年度目標値 実績	９年度目標値 実績	10年度目標値 実績	現状と課題（令和7年度）	評価 今後の方向性	評価の理由（令和7年度）	担当課
34	父親・母親教室の開催（再掲）		100	100	100	100	計画通り5コースを開催した。延べ妊婦78人　夫59人参加。各コース3日目の日曜日は、妊婦とパートナー2人での参加は、令和7年度は妊婦1人での参加が1名、パートナー1人での参加が1名であり、他は全員が妊婦とパートナーでの参加であった。 参加延べ人数（妊婦+夫）に対する夫（パートナー）の割合は年々増加し、H29年度23.8%であったが、R7年度75.6%となっている。	B	近年、父親・母親教室の妊婦の夫参加割合は増加が続いており、教室満足度調査の結果、妊婦の夫はR3年度の93.8%から上昇しR6年度は100%、令和7年度は96.3%となっている。また就労していない初産婦はR6年度22.4%、R7年度22%であり、平日の教室の参加が難しくなっている現状があり、R7年度から平日の開催を3日から2日に減らし、就労している初産婦も参加しやすい教室のプログラムとした。 令和7年度の参加者の満足度は96%と高かったが、目標値に達しなかったため、B評価とした。	子育て支援課
	妊婦とそのパートナーを対象にした、妊娠・出産・育児や家庭づくり等についての講座の開催を通じて、男女がお互いを理解し尊重することについて意識啓発を図ります。	参加者の満足度（%）	96					2		

施策の内容（３）学校等における意識啓発

事業番号	事業名 / 事業内容	指標	７年度目標値 / 実績	８年度目標値 / 実績	９年度目標値 / 実績	10年度目標値 / 実績	現状と課題（令和7年度）	評価 / 今後の方向性	評価の理由（令和7年度）	担当課
35	教職員の資質向上事業		230	230	230	230	教職員研修会（5/2,8/1,8/6,8/25（ 全4回，318名）及び教育講演会（7/22 71名）において、人権感覚や男女共同参画に配慮した指導や教育課題に向けての研修を行い、教職員の意識を高めた。 ・研修会、教育講演会参加者の男女比は5:8であった。	A	性自認も含めた多様な児童・生徒に対する教育相談、支援のあり方や自己肯定感向上をはじめ、教職員や社会のニーズに応じた研修を実施することができた。今後も教職員の意識啓発をしていくため、教育現場や社会情勢を踏まえた研修を設計していく必要がある。	学校教育課
	教職員向け講演会や研修会等を開催し、児童・生徒への人権を配慮した教育の充実を図ります。	研修会等への参加者数（人）	389					2		

事業番号	事業名 / 事業内容	指標	７年度目標値 / 実績	８年度目標値 / 実績	９年度目標値 / 実績	10年度目標値 / 実績	現状と課題（令和7年度）	評価 / 今後の方向性	評価の理由（令和7年度）	担当課
36	中学生人権作文コンテストの実施		100	100	100	100	人権作文コンテストについては、夏休みの宿題で選択制となっている。 そのため、増減数については予想することが難しいが、令和7年度に募集を行った結果、258名の応募があった。	A	次年度も学校に向けて人権作文コンテストの周知を図っていく。	町民窓口課
	関係機関と連携して人権作文コンテストを実施し、人権に対する生徒の意識啓発を図ります。	作文の応募者数（人）	258					2		

【基本目標Ⅳ】 推進協議会評価 （個別）	【基本目標Ⅳ】ジェンダー平等の意識啓発の推進 ＜各事業について＞ 〇事業番号35:教職員の資質向上事業 ・多様な児童に対する支援など、時代と共に変化する対応を学ぶ研修はとても重要だと思われ、大変評価出来る。 〇事業番号36:中学生人権作文コンテストの実施 ・より多くの生徒が人権を意識できるよう、関心を持つよう人権作文コンテストの周知を図っていただけたらと思います。 ＜総評について＞ ・男女共同参画に関する講座の参加者が少なかったのが残念だ。 ・目標を達成していると評価します。 ・学校でも課題となっている内容で、デリケートな内容も多くあると思いますが、計画に沿っていねいに取り組みを進めてほしい。 ・全体的に、概ね目標を達成できていると評価できます。 ・地域、家庭、学校等への意識啓発について、引き続き関係機関と連携されて、取組を進められてください。 ・「男性は仕事、女性は家庭」といった固定的な性別役割分担意識をなくしていくため、日常生活の中で無意識に持っている思い込みにも気づけるような啓発が重要だと感じました。 ・ジェンダー平等の意識を社会全体に広げていくためには、子どもの頃から男女の役割を固定せず、一人ひとりの個性や希望を尊重する意識を育てることが大切だと思います。 ・ジェンダー平等は特別なことではなく、家庭や職場、地域など身近な生活の中に関わる問題だと思います。日常の具体的な事例を取り上げた啓発があると、より理解が深まると感じました。 ・女性の活躍推進だけでなく、男性も家事や育児、地域活動に主体的に参加することが当たり前となるよう、男性側への意識啓発もさらに進めていただきたいと思います。 ・性別によって生き方や役割を決めつけるのではなく、一人ひとりが自分らしい生き方を選択できる社会を目指して、幅広い世代への継続的な啓発を進めていくことが重要だと感じました。
【基本目標Ⅳ】 推進協議会評価 （事務局案）	＜各事業について＞ 〇事業番号35:教職員の資質向上事業 ・多様な児童への支援など、時代とともに変化する対応を学ぶ研修は重要であり、大変評価できる。 〇事業番号36:中学生人権作文コンテストの実施 ・より多くの生徒が人権への関心を持ち、意識を高められるよう、人権作文コンテストの周知に取り組んでいただきたい。 ＜総評について＞ 男女共同参画に関する講座は参加者数が目標を下回ったため、周知や内容の工夫をしていただきたい。今後は、「男性は仕事、女性は家庭」といった固定的な性別役割分担意識や無意識の思い込みに気づけるよう、家庭や職場、地域での身近な事例を取り上げた啓発を進めていただきたい。また、子どもの頃から一人ひとりの個性や希望を尊重する意識を育むとともに、男性が家事・育児・地域活動に主体的に関わることが当たり前となるよう、男性側への啓発にも力を入れることが大切である。デリケートな内容も多いが、計画に沿って丁寧に幅広い世代へ継続して取り組んでいただきたい。

〈基本目標Ⅴ　安心して暮らせる社会の実現〉

施策の基本的方向　１．さまざまな困難を抱えている女性等への支援

施策の内容（１）困難な問題を抱えている女性等への支援

事業番号	事業名 事業内容	指標	7年度目標値 実績	8年度目標値 実績	9年度目標値 実績	10年度目標値 実績	現状と課題（令和7年度）	評価 今後の方向性	評価の理由（令和7年度）	担当課
37	各種相談窓口の周知 日常生活における様々な悩みを抱えている方が、相談窓口を利用するきっかけとなるよう、町広報紙やホームページ等で相談窓口の周知に努めます。	広報紙、ホームページでの啓発回数（回）	2 2	2	2	2	広報紙およびホームページへの掲載を行い、相談窓口の情報提供を行った。 引き続き、より有意義な情報提供をどのように実施していくのかを検討していく。	A 2	広報紙およびホームページへの掲載を継続し、周知を図ることができたため。	町民窓口課
38	就労支援講座の開催（再掲） 県や関係機関と共催し、就労支援のための講座を開催します。	講座の開催回数（回）	3 3	3	3	3	「企業と高校の情報交換会」令和7年6月18日（水）に開催。 参加企業52社(内、寒川町11社)、 参加高校20校 「湘南合同就職面接会」令和8年1月28日（水）に開催。 参加企業数34社（内、寒川町3社）、 求人件数72件、求人数169名、参加者数128人（男72人・女56人）、応募数181件、採用者数13人、 不採用人数168人、相談・説明のみ30人 「寒川町合同企業説明会（旧寒川町ミニ面接会） 令和8年2月27日（金）に開催。 参加企業13社（内、寒川町9社、寒川町関連企業4社）、参加者数27人（男20人・女7人） 関連機関と協力して就労支援講座等を実施することができた。 今後も、関係機関と連携を図り就労支援をしていく必要がある。	A 2	就労支援に資する事業を関係機関と連携を図り、実施することができた。 令和6年との比較においても、湘南合同就職面接会では、参加者及び企業数、採用者数が増加。寒川町合同企業説明会(旧:寒川町ミニ面接会)では、企業数及び参加者数を増やすことができた。 一方で、企業と高校の情報交換会では、参加企業数及び高校ともに減少したが概ね目標を達成した。	産業振興課

事業番号	事業名		７年度目標値	８年度目標値	９年度目標値	10年度目標値	現状と課題（令和7年度）	評価	評価の理由（令和7年度）	担当課
	事業内容	指標	実績	実績	実績	実績		今後の方向性		
39	求人に関する情報提供（再掲） 役場ロビーにハローワークの求人検索のための検索端末等を設置し、情報提供に努めます。また、合同面接会等でも求人情報を提供します。	湘南合同就職面接会で求人情報を提供できた企業数（社）	30	30	30	30	ハローワーク藤沢、藤沢市、茅ケ崎市、鎌倉市、寒川町、神奈川県、藤沢商工会議所、茅ケ崎商工会議所、鎌倉商工会議所、寒川町商工会と合同で湘南合同就職面接会を開催した。 ・日時:令和8年1月28日（水） ・場所:藤沢商工会館ミナパーク 参加企業数34社（内、寒川町3社）、 求人件数72件、求人数169名、参加者数128人（男72人・女56人）、応募数181件、採用者数13人、不採用人数168人、相談・説明のみ30人	A	本庁舎1階の求人検索用のパソコンについては、利用者数の減少から費用対効果の面を考慮し、令和7年で廃止とした。 合同面接会については、指標としている湘南合同就職面接会の参加企業数の目標達成に加え、寒川町合同企業説明会（旧:寒川町ミニ面接会）を開催し、就労支援に資する取り組みが実施できた。	産業振興課
			30				ハローワーク藤沢と合同で寒川町合同企業説明会を開催した。 ・日時:令和8年2月27日（金） ・場所:町民センター 参加企業13社（内、寒川町9社、寒川町関連企業4社）、参加者数27人（男20人・女7人） パソコンについては、令和7年に廃止。	3		

事業番号	事業名		７年度目標値	８年度目標値	９年度目標値	10年度目標値	現状と課題（令和7年度）	評価	評価の理由（令和7年度）	担当課
	事業内容	指標	実績	実績	実績	実績		今後の方向性		
40	子育て支援相談事業（再掲） 子育て全般についての相談指導と育児情報の提供を行います。	相談への対応率（%）	100	100	100	100	相談日：月から金　9:00～17:00 相談件数784件 課題等：育児不安を抱える家庭は増加の傾向にあり、相談内容も多岐に渡り、複雑化・長期化の傾向がある。	A	子育て支援相談件数は年々増加傾向にある。要因としては近年の対面相談の機会の増加、子どもの面前でのDVや、ひとり親に関する相談の増加等が考えられる。令和6年度からは子育て相談支援員も増員し相談には全数対応できたが、複雑で多岐に渡る課題を持ち合わせる家庭が多く、相談支援も長期化していることが課題である。今後も継続した取り組みが必要である。	子育て支援課
			100					2		

事業番号	事業名 / 事業内容	指標	7年度目標値 / 実績	8年度目標値 / 実績	9年度目標値 / 実績	10年度目標値 / 実績	現状と課題（令和7年度）	評価 / 今後の方向性	評価の理由（令和7年度）	担当課
41	労働相談に関する情報提供（再掲） 広報紙やホームページ等で労働相談窓口などの情報提供を行うとともに、相談内容に応じて関係機関を紹介するなど、労働相談に関する情報提供を行います。 また、関係機関と協力し労働者向けに労働に関する相談会を実施します。※雇用情勢により実施しない場合もあります。	広報紙・ホームページ等での情報提供回数（回）	3 / 3	3 /	3 /	3 /	県や各関係機関が実施する各事業や相談先について、町ホームページで情報提供を行った。	A / 2	県等の労働者相談先についての情報提供及び、女性キャリアカウンセリング等の情報提供を窓口で行い、目標を達成した。	産業振興課

事業番号	事業名 / 事業内容	指標	7年度目標値 / 実績	8年度目標値 / 実績	9年度目標値 / 実績	10年度目標値 / 実績	現状と課題（令和7年度）	評価 / 今後の方向性	評価の理由（令和7年度）	担当課
42	労働講座の開催（再掲） 関係機関と協力し、労働環境の改善に関する講座を開催します。	開催回数（回）	1 / 1	1 /	1 /	1 /	労働問題懇話会との共催で労働講座を開催した。 日時:令和8年2月4日（水）18:30～20:00 場所:町民センター1階　展示室2 テーマ:労働法の基礎知識「労働基準法の基礎」 講師:神奈川県かながわ労働センター湘南支所職員 参加者数:33名	A / 2	関係機関と連携し、勤労者のための労働講座を実施。	産業振興課

事業番号	事業名		７年度目標値 / 実績	８年度目標値 / 実績	９年度目標値 / 実績	10年度目標値 / 実績	現状と課題（令和7年度）	評価 / 今後の方向性	評価の理由（令和7年度）	担当課
43	ＤＶ等に関する相談や関係機関との連携（再掲）		2	2	2	2	・相談を随時受付 ・県女性相談支援員との連携（情報共有）２回 町で相談を受けた際は、平塚保健福祉事務所茅ケ崎支所と連携を取り、相談にあたっている。また、平塚保健福祉事務所茅ケ崎支所で受けた相談であっても、各種手続きで来庁される場合など連絡を取り合って対応している。今後も適宜、情報提供できるよう努めていく。 町のDV相談受付件数：10件	A	平塚保健福祉事務所茅ケ崎支所と定期的に情報交換を行うなど、スムーズな連携が取れたため。	町民窓口課
	関係機関と連携しながらＤＶ等に関する相談を受けるとともに、緊急一時保護事業に関する協定に基づき、ＤＶ被害者の緊急一時保護に向けた支援を行います。	関係機関との情報交換機会回数（回）	2					2		

【基本目標Ⅴ】 推進協議会評価 （個別）	【基本目標Ⅴ】安心して暮らせる社会の実現 ＜各事業について＞ 〇事業番号37：各種相談窓口の周知 ・町広報紙やホームページは町民にとって身近であると思います。引き続き掲載を継続され周知を図っていただきたいと思います。 〇事業番号39：求人に関する情報提供 ・藤沢、茅ヶ崎などと合同で行う事は求職者にとっても仕事の幅が広がり有難いと思う。 ＜総評について＞ ・全体的に実績が達成されているのでとても評価出来る。今後も計画に沿って活動を進めてほしい。 ・目標達成していると評価します。 ・十分な成果を上げているようですので、今後も計画に沿って活動を進めてほしい。 ・全体的に、概ね目標を達成できていると評価できます。 ・困りごとを抱えていても、どこに相談したらよいのか分からない方もいると思います。相談窓口を分かりやすく周知するとともに、気軽に相談できる環境づくりを進めていただきたいです。 ・支援制度についてホームページ等で情報発信するだけでなく、情報を自ら探すことが難しい方にも必要な情報が届くよう、周知方法を工夫していくことが重要だと感じました。 ・誰もが安心して暮らせる社会にするためには、高齢者や障がいのある方などが安心して避難できる体制が整っていることは重要だと思います。平時から地域との連携を深めておくことが必要だと感じました。 ・制度や支援体制を整えるだけでなく、実際に町で暮らす一人ひとりが「困ったときに頼れる場所がある」と感じられることが大切だと思います。身近な相談先や支援について、より分かりやすい情報発信を期待しています。

【基本目標Ⅴ】 推進協議会評価 （事務局案）	＜各事業について＞ 〇事業番号37:各種相談窓口の周知 ・町の広報紙やホームページは町民にとって身近な情報源であるため、引き続き掲載を継続し、周知に努めていただきたい。 〇事業番号39:求人に関する情報提供 ・近隣市と合同で実施することは、求職者にとって仕事の選択肢が広がる機会となり、評価できる。 ＜総評について＞ 全体として、各取組は十分な成果を上げており、概ね目標を達成していると評価できる。今後は、相談窓口の周知を強化し、情報を自ら探すことが難しい方にも届く周知方法を工夫していただきたい。また、高齢者や障がいのある方の避難体制など、平時から地域との連携を深めていただきたい。町民が「困ったときに頼れる場所がある」と実感できるよう、引き続き取組を進めていただきたい。